

概要版



いわて県民計画

ゆたかさ・つながり・ひと

～いっしょに^{は<<}育む「希望郷いわて」～



岩手県

これからの岩手について いっしょに考えてみましょう!

Q1 どうして
計画をつくるの?



A 私たちを取り巻く環境が大きく変化中、
県民一人ひとりが自分の希望に向かって
いきいきと働き、安心して暮らしていくことのできる
社会を実現していくためです。



Q2 どんな計画で、
だれが計画を進めるの?



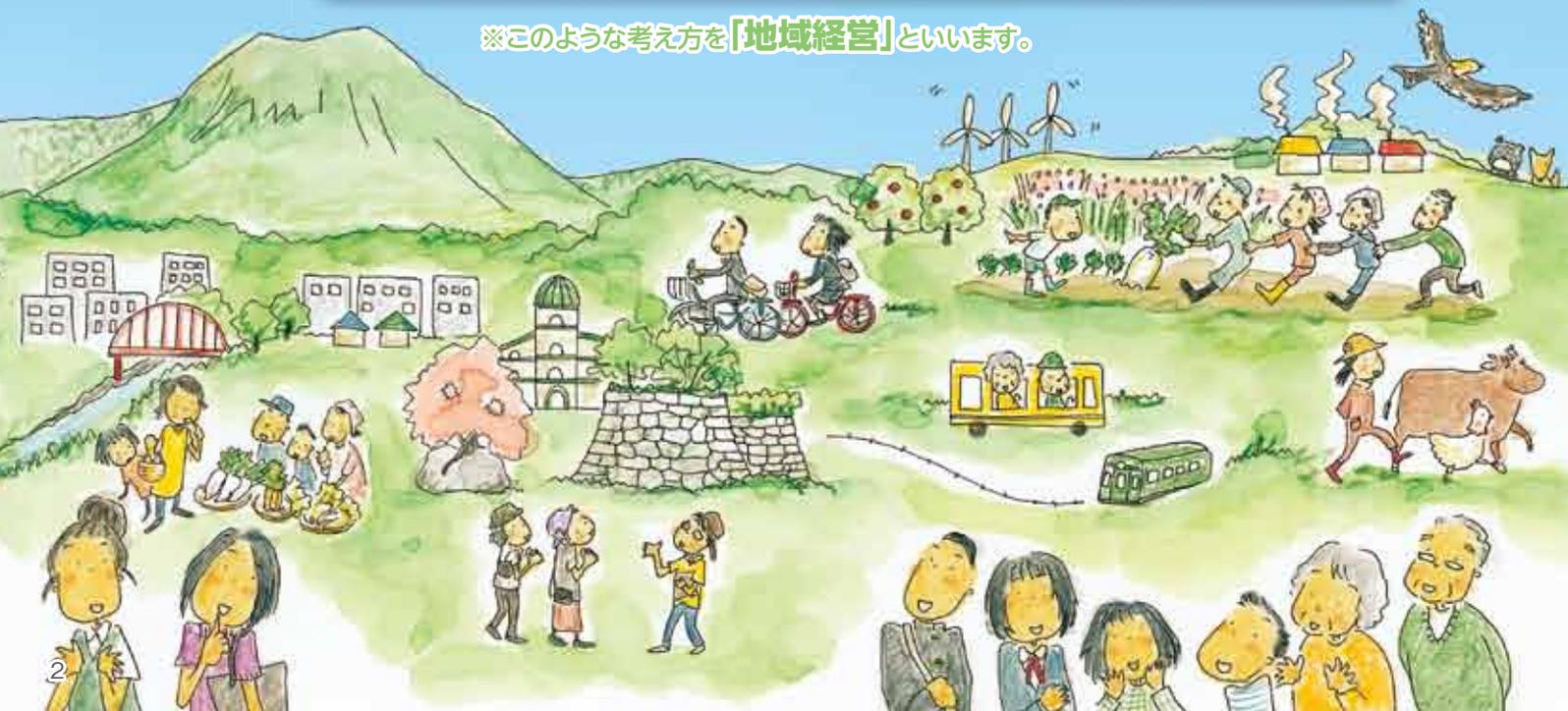
A

10年後に実現していきたい岩手の姿に向かって
県民一人ひとりが行動していくための羅針盤となるものです。
県民や企業、NPO、行政など、みんなで
岩手の未来の姿を共有し、力を集めて、
一緒に希望あふれる岩手を創っていくものです。



※

※このような考え方を「地域経営」といいます。



みなさんは、これからの岩手をどんな姿にしていきたいと思いませんか？
これから説明する「いわて県民計画」(計画期間:平成21年度[2009年度]~平成30年度[2018年度])は、
10年後に実現していきたい岩手の姿に向かって
県民一人ひとりが行動していくための羅針盤となるものです。
岩手に暮らす一人ひとりが、自分の希望に向かって
いきいきと働き、安心して暮らし、楽しく学べるように。
岩手の未来を創っていくのは、他の誰でもなく、私たち一人ひとりです。
一人ひとりが岩手の未来づくりの主役になって、
希望あふれる岩手を一緒に実現していきましょう。

岩手でいま起こっていること

インターネットなどの情報通信技術の進歩などにより、例えば、岩手にいながら世界中のさまざまな情報や商品を簡単に手に入れることができるなど、これまで以上に世界との関わりが強まっています。また、人口が減少し、県全体の人口に占めるお年寄りの割合が高まる傾向が、全国を上回るペースで続いています。

希望あふれる岩手の未来を考えるに当たっては、こうした時代の変化をしっかりとらえながら、岩手の強み・可能性、弱み・課題が何であるかを知ることが大切です。

岩手の強み(例)

- 自動車製造などの「ものづくり」の企業が集まっている。
- 豊かな資源を生かした農林水産業が営まれている。
- 人を引きつける自然や歴史遺産、伝統文化などに恵まれている。
- 地域の中での助け合いや支え合いの精神が受け継がれている。

岩手の弱み(例)

- 工場で使う多くの部品が県外で作られている。
- 適切に維持管理ができていない農地や森林が増えている。
- 県内に宿泊する観光客が減っている。
- 地域コミュニティの持つ機能が低下してきている。



みんなの力で 「希望郷いわて」を創っていこう

「いわて県民計画」をつくるに当たって、多くの県民の皆さんから10年後の自分や岩手のありたい姿を「いわて希望メッセージ」としていただきました。県民の皆さん一人ひとりの将来の希望を重ね合わせながら、「私たちが実現していきたい岩手の未来」を「みんなの基本目標」と「実現していきたい岩手の未来」として描いています。



〈みんなの基本目標〉

はぐく

いっしょに育む 「希望郷いわて」

岩手のこころを持つ「ひと」が、多様な「つながり」を持ち、岩手の特性を生かした真の「ゆたかさ」をはぐくみながら、「希望郷いわて」を実現することを目指します。

〈実現していきたい岩手の未来〉

仕事

“いきいき”と働いています。

県民一人ひとりが、自らの希望の実現に向かって
◎それぞれの選択に応じて、
◎その能力を十分に発揮できる仕事に就き
◎岩手を持つ多様な可能性を生かして
いきいきと働いています。

暮らし

“安心”して暮らしています。

県民一人ひとりが、岩手の風土の中で
◎多様な価値観や生き方を尊重し合い、
◎地域や多くの人々と共に支え合いながら
◎健康でいきいきと
安心して暮らしています。

学び・こころ

“楽しく”学んでいます。

県民一人ひとりが、
◎郷土に誇りを持ち、心豊かに過ごすため、
◎必要な学びの場に積極的に参加するとともに、
◎創造的な仕事や地域づくり活動などに関わり、
楽しく学んでいます。

7つの政策で 岩手の未来をつくる

みんなで描いた岩手の未来を実現するための取組として、7つの政策を掲げました。これは、産業・雇用、医療・子育て・福祉など、みんなの暮らしに関わる大事な政策です。この7つの政策にしっかり取り組み、「希望郷いわて」の実現を目指していきます。



産業・雇用

1 「産業創造県いわて」の実現

岩手の資源や知恵を生かした産業が展開され、一人ひとりの能力ややる気を生かして働くことができる地域を目指します。



農林水産業

2 「食と緑の創造県いわて」の実現

持続的に発展できる農林水産業が確立され、生産者や消費者がその豊かさや恵みを実感できる地域を目指します。



医療・子育て・福祉

3 「共に生きるいわて」の実現

子どもから高齢者まで、また、病気・障がいの有無に関わらず、それぞれの力を生かし助け合いながら、いきいきと暮らすことができる地域を目指します。



安全・安心

4 「安心して、心豊かに暮らせるいわて」の実現

地域の防災や防犯、食の安全の確保、地域コミュニティの活性化など、誰もが安心して暮らすことができる地域を目指します。



教育・文化

5 「人材・文化芸術の宝庫いわて」の実現

将来の岩手を担う人材が育成され、多彩な文化芸術が創造・継承される地域を目指します。



環境

6 「環境王国いわて」の実現

低炭素社会や循環型社会が形成され、環境の保全や自然との共生の取組が活発に行われる地域を目指します。



社会資本・公共交通・情報基盤

7 「いわてを支える基盤」の実現

産業を支える道路整備や暮らしを守る洪水対策などが進められるとともに、県民の皆さんが利用しやすい公共交通体系や情報通信基盤が整備された地域を目指します。

岩手の未来を切り拓く6つの構想

6つの構想で 岩手の新たな可能性を拓く

「希望郷いわて」の実現をより確かなものとしていくために、6つの構想をつくりました。これは、「先駆性」、「独自性」が高く、分野を超えた取組や新たな仕組みづくりを進めながら岩手の未来を切り拓いていくものです。

海の産業創造いわて構想

三陸の「海」の資源を生かした多彩な産業の展開や海洋関係の研究を進めます。

次世代技術創造いわて構想

次の時代の技術開発など岩手の競争力の向上に向け、科学技術分野の研究開発の拠点づくりを進めます。

環境共生いわて構想

太陽光や風力などの再生可能エネルギーの利用拡大などによる低炭素社会への転換や環境産業の展開を進めます。

元気になれるいわて構想

岩手の持つ癒しや健康などの資源を生かし、岩手に来た人、岩手にいる人が元気になれる取組を進めます。

安心のネットワークいわて構想

医療・子育て・福祉など地域の安心をみんなのつながり(ネットワーク)で守り、つくる取組を進めます。

ソフトパワーいわて構想

岩手の持つ歴史や文化、自然など世界に誇るソフトパワーを磨き育て、内外からの評価を高める取組を進めます。

地域振興の展開方向

個性を生かした産業振興で オンリーワンの地域づくりを

これからの地域振興には、これまで以上に広域的な視点や戦略が必要です。4つの広域振興圏それぞれの強みを伸ばし、弱みを克服しながら、オンリーワンの地域づくりを進めます。

- 県内を地域の産業の類似性などにより4つの広域振興圏に分け、その圏域の特長を生かした地域づくりを進めます。
- 広域振興圏どうしや東北各県との協力など、広域的な連携を進めます。
- 町内会や自治会など、地域コミュニティのつながりを大切にしていきます。
- 県北・沿岸圏域や過疎・山村・豪雪などの条件が不利な地域の振興に、特に力を注ぎます。

県北広域振興圏

培われた知恵・文化、多様な資源・技術を生かし、八戸圏域等との交流・連携を深めながら、持続的に発展する活力みなぎる地域

県央広域振興圏

都市と農山村が広域的に連携し合いながら北東北の拠点としての機能を担う地域

沿岸広域振興圏

三陸から世界へ挑む産業が躍動し、海陸の交流拠点としての機能を担う地域

県南広域振興圏

「連携」と「協働」により、地域の資源を生かしながら世界に誇れる岩手をリードする地域

県政運営の基本姿勢

県民と一緒に未来を拓く 新たな県政へチェンジ!

いわての未来づくりを支える専門集団としてさまざまな課題に立ち向かいながら、県民の皆さんの積極的な参加による新しい公共サービスのかたちづくりを進め、これからの時代に対応した県政運営にチェンジしていきます。

- 職員や組織の力を高め、シンクタンクとしての機能を発揮する取組を進めます。
- 安定的な行政サービスを提供できる財政構造や効率性・実効性を兼ね備えた体制づくりを進めます。
- 県民やNPO、企業など多様な主体により公共サービスを担っていく仕組みづくりを進めます。
- 国と県、そして市町村との役割を適切に分担しながら、多様なニーズに対応できる行政サービスの提供を進めます。



みんなの力を合わせて
希望あふれる岩手の未来を



岩手県政策地域部政策推進室

〒020-8570 盛岡市内丸10-1

TEL 019-629-5508 FAX 019-629-5254

<http://www.pref.iwate.jp/>